

一年は、
ここで終わる。

俺にはまだ
グランプリがある

一番は、
ここで決まる。

KEIRIN

GRAND PRIX 2022 HIRATSUKA

12.28 YOUNG
GRAND PRIX

12.29 GIRLS
GRAND PRIX

12.30 KEIRIN
GRAND PRIX

平塚競輪場
電話投票番号 35#



KEIRINグランプリ
特設サイト



00 KEIRIN.jp
特設サイト



平塚競輪場
特設サイト

後援：経済産業省



日本スポーツ
振興会

DaiNippon

CICLE

00

※競輪は遠慮に楽しみましょう。
※車券の購入は20歳になってから。

KEIRIN GRAND PRIX 2022.12.30 FRI

近畿コンビが底力を示す

北勢が4人となったが、まず注目は近畿コンビだ。脇本雄太は数少ないG I 出場機会の中で日本選手権、オールスターを制覇、古性優作も全日本選抜、高松宮記念杯をVとグランプリ王者らしさを発揮した1年だった。機動型同士で並ぶ北勢は出方が読みやすい。脇本が力でねじ伏せて古性との一騎打ちに持ち込むか。

新山響平は北勢から勝者を出すべく、先手奪取に迷いが無い。あとは新田祐大の腕の見せ所だ。グランドスラマーとなった新田がグランプリまで制するか。

それぞれ地区単騎となった松浦悠士、郡司浩平、平原康多も競輪界を代表する自在型。特に競輪祭で抜群のデキだった地元の郡司には期待がかかる。

KEIRIN グランプリ 2022 出場選手一覧 (順序不同)

※数値は全て 2022/11/30 時点を基準としています。
※集計した数値は全て直近4ヶ月間のものです。

12/30 (最終日)									11R
平原 康多	佐藤 慎太郎	守澤 太志	郡司 浩平	松浦 悠士	新山 響平	新田 祐大	脇本 雄太	古性 優作	出走予定 16:30
埼玉 40歳 87期	福島 46歳 78期	秋田 37歳 96期	神奈川 32歳 99期	広島 32歳 98期	青森 29歳 107期	福島 36歳 90期	福井 33歳 94期	大阪 31歳 100期	
SS	SS	SS	SS	SS	S1	S1	S1	SS	現級班
118.62	115.48	118.86	120.09	119.36	114.36	116.87	119.29	118.69	競走得点
									選手能力値 ■機動力 ■ダッシュ ■差し脚 ■ポテンシャル ■実績 ※数値詳細は下記
7 8 10 9 10	2 2 9 7 10	2 2 9 7 3	8 10 5 10 4	7 9 8 10 4	7 8 3 8 1	8 10 4 7 6	9 10 4 10 5	7 9 7 9 4	
									BS先頭進出数 戦法別勝利数 ■逃げ ■まくり ■追込み ■マーク
BS 2	BS 0	BS 0	BS 11	BS 10	BS 19	BS 8	BS 9	BS 4	
0 4 14 1	0 0 5 6	0 2 12 1	5 15 5 1	3 10 9 1	8 5 1 1	2 12 3 1	6 15 0 0	0 7 3 3	
									勝利度数 ■1着 ■2着 ■3着 ■着外
16 3 5 8	3 8 1 13	9 6 4 11	17 9 2 4	12 11 4 6	10 5 4 14	10 8 3 10	19 2 1 2	6 7 2 8	
¥93,508,000	¥105,146,200	¥106,494,900	¥113,532,600	¥147,957,900	¥76,241,000	¥83,320,000	¥181,991,300	¥139,186,300	獲得資金
① ④ (6)	① ① (0)	① ① (1)	③ ③ (4)	④ ② (3)	⑤ ⑤ (5)	⑤ ⑤ (8)	⑤ ③ (0)	① ① (7)	HS 打鐘 (S)

機動力…自力選手の競走力を数値化したもの ダッシュ…捲り、カマシのキレ味を数値化したもの 差し脚…追込、マーク主体選手の差し脚を数値化したもの
ポテンシャル…競輪記者が見極めた潜在能力を数値化したもの 実績…生涯成績からの勝利度数を基本に、グレードレースでの活躍度を数値化したもの

地元の夢舞台で全力疾走！ 郡司浩平インタビュー

今年の前半は決勝に乗れなかったり、結果が出ない時期もあった。けど、焦りとかはなかったですね。ただ、オールスターでの落車はこたえました。2年ぶりの落車だったんですけど、そこからは体を戻すのが大変でした。後半になって安定して走れている感じはありました。4年連続でグランプリに出場することができてホッとしています。やっぱりこれまでS班として戦ってきて、S班を続けることの難しさだったり感じますし、S班であり続けたい気持ちっていうのも強くなってきている。4年前の初めてのグランプリも単騎だった。その時と状況もメンバーも違う。2年前の地元の平塚グランプリはギリギリで乗れた感じだったので、見せ場を作りたいという気持ちの方が強かった。でも、今年は自分がしっかり勝つための走りがしたい。応援してくれているファンの方々の前で、全力で頑張ります。



・KEIRIN グランプリ 2021 での郡司選手



郡司 浩平 神奈川・99期

今年は3度の記念Vに共同通信社杯制覇で賞金を積み重ね、地元のエースとして、南関東地区からただ一人の出場。4年連続4回目のGPは、地元の期待を一身に背負い大舞台に立つ。

KEIRIN グランプリ 出場選手 対戦成績（先着数）

相手(右) 本人(左)	佐藤慎	平原康	新田祐	脇本雄	守澤太	松浦悠	郡司浩	古性優	新山響
佐藤慎太郎		22-31	12-21	3-13	14-6	37-33	24-33	19-20	18-9
平原康多	31-22		16-12	3-9	20-17	18-28	23-29	10-16	7-2
新田祐大	21-12	12-16		5-8	16-11	14-12	11-17	7-12	7-1
脇本雄太	13-3	9-3	8-5		8-2	18-8	9-3	11-2	7-0
守澤太志	6-14	17-20	11-16	2-8		16-31	15-24	18-14	17-11
松浦悠士	33-37	28-18	12-14	8-18	31-16		25-30	30-21	12-3
郡司浩平	33-24	29-23	17-11	3-9	24-15	30-25		22-19	14-8
古性優作	20-19	16-10	12-7	2-11	14-18	21-30	19-22		12-7
新山響平	9-18	2-7	1-7	0-7	11-17	3-12	8-14	7-12	

平塚競輪場 連対数ランキング

	勝利数	連対数	3連対数
1 郡司浩平	4回	1 古性優作	7回
2 古性優作	3回	2 郡司浩平	6回
3 佐藤慎太郎	3回	3 新田祐大	4回
4 新田祐大	2回	3 佐藤慎太郎	4回
5 平原康多	1回	5 平原康多	2回
5 新山響平	1回	6 脇本雄太	1回
7 脇本雄太	0回	6 新山響平	1回
7 松浦悠士	0回	8 松浦悠士	0回
7 守澤太志	0回	8 守澤太志	0回

※対戦成績および連対数ランキングは2022/12/02時点より過去3年間の集計データとなります。

YOUNG
GRAND PRIX
2022.12.28 WED

岐阜コンビの 結束力を重視で

実績優る山口拳矢が本命だ。度重なる落車でリズムを乱し、まだGⅡ優勝を飾った昨年の勢いを取り戻すには至っていないが、成績自体はしっかりとまとめている上には今年は橋本優己という頼れる味方がいる。長い距離を踏める橋本が前回りとなって山口が鋭脚を発揮するか。

ナショナルチームで活躍する寺崎浩平も意地を見せる。競輪への出走機会はいくつかあるが、オールスターで優勝の機動力はダテではない。西勢も高いトップスピードを誇る犬伏湧也、松岡辰泰ら粒ぞろい。関東の新世代機動型として売り出す吉田有希、菊池岳仁も怖い。



寺崎 浩平
福井・117期

寺崎浩平 インタビュー

今年は競輪にしても、競技にしても、うまくいった1年だった。タイム、パワー的にも伸びが実感できました。ヤンググランプリは2回目ですし、これが最後のチャンス。今年こそ獲りたい。去年は終始、9番手でまくり追い込んで3着だった。今年は単騎になると思うんですけど、前々について自分のタイミングで行ければ、まくり切れるっていう感触もあります。僕はトップスピードに自信があるので、そこをみなさんに見ていただきたいですね。

YOUNG グランプリ 2022 出場選手一覧 (順序不同)

※数値は全て 2022/12/07 時点を基準とします。
※集計した数値は全て直近4ヶ月間のものです。

									12/28 (初日) 11R
									走予定 16:30
橋本 優己 岐阜 22歳 117期	松岡 辰泰 熊本 26歳 117期	菊池 岳仁 長野 22歳 117期	犬伏 湧也 徳島 27歳 119期	石原 颯 香川 23歳 117期	町田 太我 広島 22歳 117期	吉田 有希 茨城 21歳 119期	山口 拳矢 岐阜 26歳 117期	寺崎 浩平 福井 28歳 117期	
S2	S1	S1	S2	S1	S1	S2	S1	S1	現級班
108.00	110.13	106.95	108.65	104.83	106.50	111.04	112.26	111.00	競走得点
									選手能力値 ■機動力 ■ダッシュ ■差し脚 ■ポテンシャル ■実績 ※数値詳細は下記
7 8 3 8 1	6 8 3 9 1	7 6 2 10 1	8 9 3 9 1	7 6 2 8 1	8 7 2 9 2	8 8 3 8 1	7 8 3 10 2	8 8 3 10 1	BS先頭通過数 戦法別勝利数 ■逃げ ■まくり ■追込み ■マーク
BS 12	BS 4	BS 9	BS 18	BS 15	BS 14	BS 13	BS 3	BS 5	
6 7 0 0	1 5 0 0	4 1 0 0	8 2 0 0	6 1 0 0	8 0 0 0	8 3 0 0	1 7 1 1	2 0 0 0	
(8) (4) (4)	(4) (6) (0)	(12) (13) (2)	(14) (5) (4)	(18) (12) (0)	(15) (13) (3)	(14) (10) (3)	(4) (4) (7)	(4) (5) (4)	HS 打鐘 (S)

機動力…自力選手の競走力を数値化したもの ダッシュ…捲り、カマシのキレ味を数値化したもの 差し脚…追込、マーク主体選手の差し脚を数値化したもの
ポテンシャル…競輪記者が見極めた潜在能力を数値化したもの 実績…生涯成績からの勝利度数を基本に、グレードレースでの活躍度を数値化したもの

佐藤水菜が グランプリ初戴冠へ

世界選ケイリンで2年連続で銀メダルを獲得。世界の佐藤水菜が地元の大舞台で主役を務める。小倉でのトライアルで一発チャンスをものにしている出場だが、今年はまくり届かず2着だった3月コレクション以外は負けていないのだから凄まじい。次元の違うスピードと勝負度胸で初の頂点に立つ。

児玉碧衣が“女王奪還”に燃える。トライアルを優勝して自信も回復。ベストに仕上げられれば、あとは組み立て次第だ。10回目のグランプリ出場となる石井寛子や成長株の柳原真緒、復活の山原さくらもV争いに加わりた。奥井迪、尾方真生の積極策も見もの。

佐藤水菜 インタビュー

(今年は) ガールズケイリンを走る機会が少ないなかで、成長した姿を見せられたと思います。競技のアジア選手権(ケイリン)でも勝たなきゃいけないというなかで、前向きに耐えて結果を残しました。競輪祭(トライアル)の決勝では自信をもって臨めました。地元でのグランプリは2回目ですが、一番気持ちがまとまっている。1年の集大成として、結果を求めて頑張ります。心身ともに充実した私の走りを見ながら見ていただきたいと思います。



佐藤 水菜
神奈川・114期

オッズパーク杯 GIRLSグランプリ2022 出場選手一覧 (順序不同)

※数値は全て 2022/12/07 時点を基準としてます。
※集計した数値は全て直近4ヶ月間のものです。

							12/29 (2日目)
							11R
尾方 真生 福岡 23歳118期	山原 さくら 高知 29歳104期	柳原 真緒 福井 25歳114期	奥井 迪 東京 40歳106期	石井 寛子 東京 36歳104期	佐藤 水菜 神奈川 24歳114期	児玉 碧衣 福岡 27歳108期	出走予定 16:30
L1	L1	L1	L1	L1	L1	L1	現級班
56.70	55.57	57.60	55.36	56.84	59.16	57.48	競走得点
							選手能力値
8 9 2 10 2	7 8 2 10 7	7 9 3 10 3	8 8 2 9 7	5 7 8 10 8	8 10 3 10 3	7 10 2 10 7	■ 機動力 ■ ダッシュ ■ 差し脚 ■ ポテンシャル ■ 実績 ※数値詳細は下記
							BS先頭通過数 戦法別勝利数
BS 14 8 14 2 0	BS 16 3 17 0 0	BS 15 9 11 4 1	BS 21 14 4 0 0	BS 2 1 6 14 1	BS 3 1 4 1 0	BS 17 4 20 0 0	■ 逃げ ■ まくり ■ 追込み ■ マーク
⑨ ③ (0)	④ ① (1)	⑤ ① (1)	⑬ ⑥ (2)	① ① (2)	① ① (0)	③ ① (0)	HS 打鐘 (S)

機動力…自力選手の競走力を数値化したもの ダッシュ…捲り、カマシのキレ味を数値化したもの 差し脚…追込、マーク主体選手の差し脚を数値化したもの
ポテンシャル…競輪記者が見極めた潜在能力を数値化したもの 実績…生涯成績からの勝利度数を基本に、グレードレースでの活躍度を数値化したもの

寺内大吉
記念杯競輪
2022.12/28.29.30

存在感が際立つ 浅井康太を指名!!

2度のグランプリ優勝の実績を誇る浅井康太の存在感が光っている。今年も一年を通して安定した成績を残してきて、実力はグランプリメンバーと紙一重。地脚の選手ならではのしびれといふ自力自在戦でも勝てるし、新星・志田龍星との初連係が叶えばさらにVへと近づく。

地元南関勢も役者をそろえてきた。軸は和田真久留だが、先導役に松井宏佑、北井佑季、さらに一昨年の当所グランプリ覇者の和田健太郎まで加わる強力布陣。中心視してもいい布陣だし大会を大いに盛り上げよう。

太田竜馬、小倉竜二も有力なV候補だ。競輪祭を欠場した影響はなさそうな太田竜のダッシュ、スピードは強烈そのもの。競輪祭でも3連対と差し脚安定している小倉でも太田竜の番手ならまずは追込に専念する。

スーパールーキー太田海也、小原佑太、窪木一茂とナショナルチーム所属の選手の走りも話題を集める。特に太田海はS級特選2場所目で早くも優勝とポテンシャルの高さは期待通りだ。南修二ら近畿勢、瓜生崇智らの熊本勢にも注意。雨谷一樹らの関東勢も曲者ぶりを発揮しよう。



期待の地元選手

グランプリ出場の郡司浩平、ガールズグランプリ出場の佐藤水梨を鼓舞すべく、寺内大吉記念杯も地元選手が奮起する。軸になる和田真久留はホームの平塚には並々ならない思い入れを持っていて、今年は4月の記念開催で決勝に進出、11月のFⅠ戦では優勝している。出脚鋭いタテ攻撃でもまだまだ勝負になるが、前記の当所記念でも好連係を決めた松井宏佑や同じく8月小田原記念でワンツーがある北井佑季の存在は大きい。全国各地から集った強豪をまとめて破る。

松井は10月にナショナルチームを引退し、今後は競輪に専念する。競輪界屈指のダッシュ力を生かすために今後は戦法を幅を広げる考えで走りからは目が離せない。北井は徹底先行で名を売る一年となった。サッカーのプロリーグで活躍したポテンシャルの高さに、同時あっせんとなった師匠の高木隆弘の下でのハードトレーニングの成果も花開いた。無論、今回もその走りに迷いはない。

嶋津拓弥、加藤圭一も当所がホームの選手だ。ともにGⅢ戦をはじめ、走るたびにコンスタントに連対していて、今回もどこかで一発がありそうで見逃せない。



寺内大吉記念杯競輪 出場予定選手一覧

※2022/12/02 時点

順位	氏名	登録地	期別	最近4ヶ月 出走成績	10 場所勝利回数					順位	氏名	登録地	期別	最近4ヶ月 出走成績	10 場所勝利回数					順位	氏名	登録地	期別	最近4ヶ月 出走成績	10 場所勝利回数				
					1	2	3	4	5						1	2	3	4	5						1	2	3	4	5
51	小倉竜二	徳島	77期	113.10	9	5	4	19		52	水谷良和	愛知	70期	100.80	3	6	6	16		52	川津悠輝	北海道	96期	102.65	4	5	8	16	
51	中川誠一郎	熊本	85期	102.77	4	5	3	17		52	中井謙	滋賀	74期	94.28	1	1	3	26		52	西田大志	福岡	98期	96.08	1	3	3	26	
51	和田健太郎	千葉	87期	111.92	11	3	7	14		52	小川啓人	愛知	75期	95.88	1	6	8	16		52	松岡孝高	熊本	98期	94.75	4	1	0	25	
51	南悠二	大阪	88期	115.15	9	7	3	10		52	江達和洋	熊本	76期	99.50	3	3	3	23		52	上牧越俊一	鹿児島	99期	94.77	3	3	3	22	
51	轟地圭典	北海道	89期	108.43	4	6	4	19		52	竹田和幸	岐阜	78期	99.03	0	4	5	25		52	櫻井正孝	宮城	100期	104.17	10	4	4	12	
51	田中晴基	千葉	90期	101.30	0	6	6	17		52	近藤誠二	香川	80期	93.80	0	1	3	27		52	太刀川一成	千葉	100期	97.21	3	1	2	20	
51	浅井康太	三重	90期	115.50	10	6	2	16		52	宇根秀俊	愛媛	80期	95.45	1	1	4	20		52	山本巨樹	大阪	100期	98.03	4	4	5	20	
51	池田恵司	香川	90期	107.55	7	4	5	11		52	宮下貴之	埼玉	81期	91.80	0	0	1	30		52	久島樹樹	宮崎	100期	101.17	4	7	6	14	
51	柴崎淳	三重	91期	108.66	7	8	3	15		52	大塚英伸	静岡	82期	100.75	5	2	5	20		52	崎津拓弥	神奈川	103期	103.63	8	3	7	14	
51	伊原克彦	福岡	91期	100.44	5	4	3	16		52	西田雅志	広島	82期	102.12	9	0	7	15		52	畑屋雄士	京都	105期	100.40	4	6	3	19	
51	和田圭	宮城	92期	112.12	5	7	6	19		52	工藤政志	青森	84期	97.48	1	3	4	24		52	佐々木豪	愛媛	109期	104.63	9	7	2	29	
51	松川高太	熊本	94期	105.24	5	4	3	20		52	櫻井学	群馬	84期	95.89	2	3	4	25		52	菊池峻太郎	静岡	111期	97.07	2	4	5	20	
51	佐藤和也	青森	95期	107.27	7	8	6	10		52	荒貴貴志	北海道	85期	96.95	0	1	4	23		52	下岡将也	三重	111期	93.14	2	1	1	27	
51	芦澤辰弘	茨城	95期	104.12	3	4	2	20		52	真崎新太郎	熊本	85期	101.00	3	5	6	19		52	中野雄喜	京都	111期	96.11	2	2	6	21	
51	南谷一樹	熊本	96期	109.61	3	4	4	24		52	岡田正陽	東京	85期	101.75	4	4	4	15		52	藤原俊太郎	岡山	111期	100.08	11	2	3	18	
51	岡崎智哉	大阪	96期	105.92	4	4	3	25		52	藤原征征	新潟	85期	98.39	2	4	6	18		52	今岡健二	広島	111期	0.00	0	0	0	0	
51	山下一輝	山口	96期	107.62	4	8	4	23		52	岡本英之	千葉	85期	94.00	2	2	7	19		52	小川丈太	徳島	111期	101.85	4	7	2	17	
51	久木康平	埼玉	97期	107.25	6	6	2	17		52	加藤圭一	神奈川	85期	97.84	2	2	4	22		52	藤嶋俊貴	岩手	113期	98.46	3	3	4	21	
51	和田真久直	神奈川	99期	114.42	9	6	5	16		52	中村圭志	熊本	86期	103.95	5	8	4	12		52	鈴木輝大	東京	113期	100.70	4	6	1	19	
51	阿部力也	宮城	100期	109.20	2	7	5	15		52	五日市誠	青森	89期	102.68	4	7	6	15		52	小林慎武	千葉	113期	92.75	3	3	2	22	
51	鈴木竜士	東京	107期	103.21	7	5	1	20		52	甲斐康昭	群馬	89期	94.72	0	0	5	23		52	内山康貴	静岡	113期	104.23	3	7	5	15	
51	山岸佳太	茨城	107期	107.93	11	0	2	15		52	八尋英輔	福岡	89期	94.33	0	3	2	25		52	中釜幸成	大阪	113期	102.29	7	3	5	15	
51	太田竜馬	徳島	109期	110.84	15	5	1	16		52	金澤幸司	福岡	91期	95.67	1	2	4	24		52	磯島介	青森	115期	101.30	3	4	5	20	
51	瓜生崇智	熊本	109期	110.09	8	5	3	19		52	岸澤賢太	埼玉	91期	97.29	3	2	2	26		52	石井洋輝	福岡	115期	100.22	6	6	2	14	
51	松井宏佑	神奈川	113期	108.32	4	10	2	19		52	原田泰志	新潟	91期	97.64	2	1	7	21		52	朝倉智仁	茨城	115期	100.72	6	8	2	16	
51	宮本幸輔	山口	113期	104.62	3	4	1	27		52	玉手翔	兵庫	91期	95.85	1	3	3	22		52	中村隆生	熊本	117期	96.65	5	3	3	21	
51	小原佑太	青森	115期	104.57	5	2	3	15		52	藤田幸司	福岡	92期	99.06	1	4	4	24		52	窪木一茂	福岡	119期	94.00	1	1	1	9	
51	高木強弘	神奈川	64期	93.27	0	0	1	31		52	岡光良	埼玉	94期	105.63	4	9	5	14		52	北井佑季	神奈川	119期	108.07	15	6	4	8	
51	細野哲也	宮城	69期	99.27	4	4	2	1		52	加賀山淳	千葉	94期	95.57	2	3	5	19		52	志田隼星	岐阜	119期	108.35	10	7	4	10	
51	澤田義和	兵庫	69期	103.17	4	6	7	15		52	二糖元太	静岡	95期	100.31	2	6	5	20		52	太田海斗	岡山	121期	107.00	20	2	0	1	

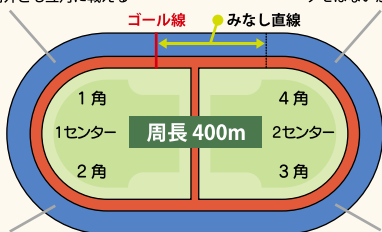
平塚競輪場 バンクデータ

競りは内外とも互角に戦える

クセはないがやや重い

決まり手回数グラフ

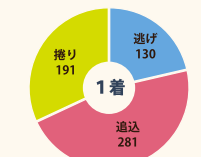
集計期間：2021/11/24～2022/11/22



イン粘りは2角までに競り勝つこと

バック追い風は気にならない強さ

捲りは早めに出切るか捲り追い込みが有効



みなし直線	54.2m	最大カント	31°28'37"
最高上がりタイム	10.4秒	荒井 崇博	(2018/05/01)

平成29年6月のメインスタンドリニューアルに伴い、バンクを掘り起こしウォークトップも塗り替え滑らかな走路に。コーナー部のカントは浅いがほとんどクセはない。捲りはバック線を目掛けて仕掛けるか、3角過ぎ遅めの仕掛けが効果的。競りは内外で有利不利の差はなく、直線は内か中を伸びての強襲が多い。

